

大泉町公共下水道事業経営戦略の改定（案）について【概要版】

■経営戦略の改定について

本町では、下水道事業を将来にわたり安定的に継続していくため実情に対応した中長期的な視野にたった経営の指針として、2018（平成 30）年度に大泉町公共下水道事業経営戦略（以下：経営戦略）を策定をしました（2028（令和 10）年度までの 10 年間）。

経営戦略については、社会情勢や経営環境の変化に合わせて 3 年から 5 年を目途に見直すことから、今回改定を行います。計画期間は、2025（令和 7）年度から 2034（令和 16）年度までの 10 年間とします。

■今回の改定のポイント

- ①経常収支比率が 100%以上を維持（資料 2：4 ページ）
- ②他会計補助金（一般会計繰入金）の基準外繰入金の縮減（資料 2：9 ページ）

1 事業概要

○施設（資料 2：1 ページ参照）

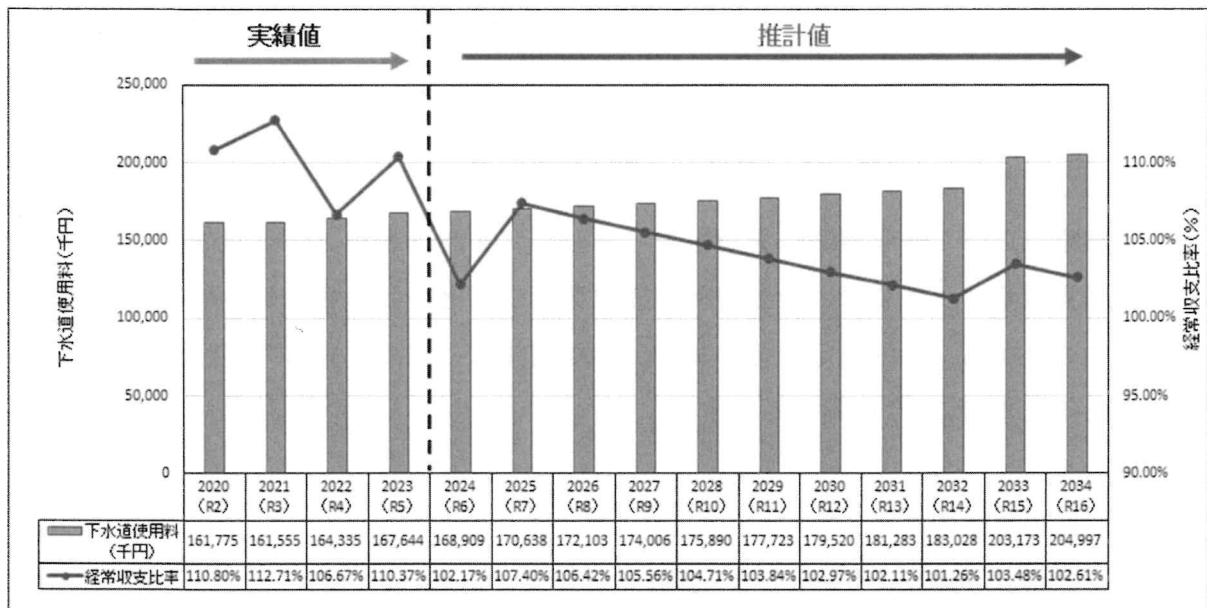
- ・供用開始年度：2000 年（平成 12 年）4 月 1 日（供用開始後 24 年経過）
- ・流域下水道等への接続の有無：有
- ・処理区域内人口密度：4098.26 人/km²（2022（令和 4）年度値）
- ・処理場数：流域下水道に接続しているため処理場は保有していません。

○経営比較分析表を活用した現状分析（資料 2：2～3 ページ、7 ページ参照）

2022（令和 4）年度の経営比較分析表より、流動比率が毎年度上昇していることや、経常収支比率が 100%以上を維持していることなど、良い傾向の指標値はあるものの、汚水処理原価の上昇やそれに伴う経費回収率の低下など、将来も安定的な経営を続けるためには改善すべき課題もあります。また、経常収支比率を計算する根拠となる経常収入の中には、一般会計からの繰入金も含まれるため、一般会計への依存度を低減する必要がある将来においては、料金改定等の経営改善を行わない場合には、指標値が悪化することが考えられます。

2 将来の事業環境

○使用料収入の見通し（資料2：4 ページ参照）



将来の使用料収入の算定を行った結果、下水道の普及に伴い増加する水洗便所設置済み人口に比例して、毎年度下水道使用料収入が増加する見通しとなりました。

しかし、減価償却費の増大や物価上昇の影響等から将来において費用が大きく増加し、それに伴い収益が低下することから2034（令和16）年度に経常収支比率が100%未満になることが予想されます。そのため、推計期間内において経常収支比率が100%以上を維持するため、2033（令和15）年度に10%の料金改定を見込みます。

3 経営の基本方針（資料2：5 ページ参照）

1. 下水道施設の適正管理

適切な施設の維持管理及び、経営の効率化・健全化を図りつつ、下水道インフラを継続的に提供します。

2. 未整備地区における整備の推進

未整備地区においては、財政状況に配慮しつつ、住宅密集地域を中心に計画的な施設整備を推進します。

3. 財政運営の健全化

下水道収入において、町からの一般会計繰入金などの他会計補助金が大きな割合を占めていることや、長期的には、施設の老朽化対策として、修繕費が漸増していくことが見込まれることも考慮し、今後は使用料水準の適正化に関する検討や一般会計繰入金の抑制、企業債残高の縮小等を通じて、財政運営の健全化を図ります。

4 投資・財政計画（収支計画）

①収支計画のうち投資についての説明（資料2：5ページ参照）

- ・今後10年間の建設改良費は、2026（令和8）年度までは毎年度約4億円、2027（令和9）年度からは毎年度3億円を見込んでいます。

（単位：千円）

年度	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)
建設改良費	400,000	410,500	300,000	300,000	300,000
年度	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)
建設改良費	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000

②収支計画のうち財源についての説明（資料2：5ページ参照）

- ・計画期間内において経常収支比率が100%以上を維持できる計画
- ・10年間における収益的収入は、1年につき約6億円と計画
- ・10年間における下水道使用料収入は1年につき約1億7千万～2億円と計画

（単位：千円）

年度	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)
収益的収入	581,328	584,819	587,310	589,334	591,440
下水道使用料	170,638	172,103	174,006	175,890	177,723
年度	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)
収益的収入	593,592	595,755	597,893	618,465	620,626
下水道使用料	179,520	181,283	183,028	203,173	204,997

5 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項（資料2：6ページ参照）

- ・各種指標の達成状況の確認や、社会状況等の変化に対応した計画とするため、5年毎に計画の検証及び見直しを行います。また、必要がある場合には、関係する各種計画の進捗管理や見直しに合わせて本計画の見直しを実施します。

経営戦略の詳細は、下記の町ホームページからご覧頂くことができます。
<http://www.town.oizumi.gunma.jp>

大泉町公共下水道事業経営戦略に関する問い合わせ先
都市建設部公園下水道課
TEL：0276-63-3111 FAX：0276-63-3921
E-mail: gesuido@town.oizumi.gunma.jp